

平成31年度
(平成31年3月～令和2年2月)

環境活動レポート

令和2年5月15日

株式会社 サンダストケミカル

～ 目 次 ～

環境方針

1. 組織の概要

- (1) 事業所名及び代表者名
- (2) 所在地
- (3) 環境管理責任者及び担当者連絡先
- (4) 事業の内容
- (5) 事業の規模
- (6) 事業年度
- (7) 法人設立年月日
- (8) 資本金

2. 認証・登録の対象組織・活動・許可の内容

- (1) 対象活動(全組織・全活動)
- (2) 組織図
- (3) 許可証一覧
- (4) 第一種フロン類回収業者登録
- (5) 施設の状況
- (6) 産業廃棄物処理工程及び最終処分終了までの一連の処理

3. 環境目標とその実績

4. 主な環境活動計画及びその取組み結果と評価並びに次年度の取組内容

5. 関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

6. 代表者による全体評価と見直しの結果

7. 環境活動の紹介

環 境 方 針

株式会社サンダストケミカルは、事業活動を通じて、地球環境との調和・共生を目指し、環境への取組を最重要課題として、全社一丸となって法令遵守のもと環境への取組を推進して環境負荷を継続的に削減します。

1. 事業活動に伴う環境への負荷を削減するため、以下の環境へ取組を行います。
 - (1) 地域環境の保全のため、騒音や粉じんの発生を抑制する対策を積極的に行います。
 - (2) 二酸化炭素排出量の削減のため、収集運搬車両、重機、機械類などのエコ運転を実施し、化石燃料の削減に努めます。
併せて、事務所・工場において、空調管理、無駄な電気の消灯などを実施し、電気使用量を削減に努めます。
 - (3) 受託した産業廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率向上を図ります。
 - (4) フロン回収業を行う時は、大気へ放出しないように細心の注意を払います。
 - (5) 事業活動に伴い自社から排出される廃棄物の発生抑制・リサイクルに努めます。
 - (6) 雨水の利用、節水により水使用量を削減に努めます。
 - (7) 事務用品のグリーン購入を推進します。また資材、車両、重機、機械類は、
2. 当社の事業活動において関連する環境関連法規等を遵守します。
3. 地域住民、地域企業の皆さまの環境保全活動に参加、貢献します。
4. 取引先企業様の3Rの取組を支援します。
5. 電子マニフェストの普及・推進に努めます。
6. 環境コミュニケーションとして、環境活動レポートを作成・公表するなどの情報公開を積極的に行い、弊社へのご意見を広く求めます。

平成29年11月1日

株式会社サンダストケミカル

代表取締役 金子 君子

(1)事業所名 代表者氏名	株式会社 サンダストケミカル 代表取締役 金子 君子 代表取締役副社長 金子 哲也																								
(2)所在地	本社:福岡市東区松島四丁目4番10号 積替え保管施設:福岡市中央区平和3丁目20番10号 松島 四丁目駐車場:福岡市東区松島四丁目1区 松島 六丁目駐車場:福岡市東区松島六丁目13-6 阿恵 駐車場:福岡県粕屋町大字阿恵400-1																								
(3)環境管理責任者 担当者連絡先	責任者 専務取締役営業部長 濱岡 光昭 担当者 営業部 友納 康一 TEL 092-626-0501 FAX 092-626-0539 Eメールアドレス toiwase@sundust.co.jp																								
(4)事業の内容	産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業、 特別管理産業廃棄物収集運搬業、フロン類回収業、 家電リサイクル取扱業																								
(5)事業の規模	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上額(百万)</td> <td>383</td> <td>428</td> <td>432</td> <td>481</td> <td>548</td> </tr> <tr> <td>従業員(人)</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>35</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>床面積(m²)</td> <td>1,130</td> <td>1,130</td> <td>1,130</td> <td>1,130</td> <td>1,130</td> </tr> </tbody> </table>		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	売上額(百万)	383	428	432	481	548	従業員(人)	32	32	32	35	34	床面積(m ²)	1,130	1,130	1,130	1,130	1,130
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度																				
売上額(百万)	383	428	432	481	548																				
従業員(人)	32	32	32	35	34																				
床面積(m ²)	1,130	1,130	1,130	1,130	1,130																				
(6)事業年度	3月～翌2月																								
(7)法人設立年月日	平成3年4月17日																								
(8)資本金	1,000万円																								

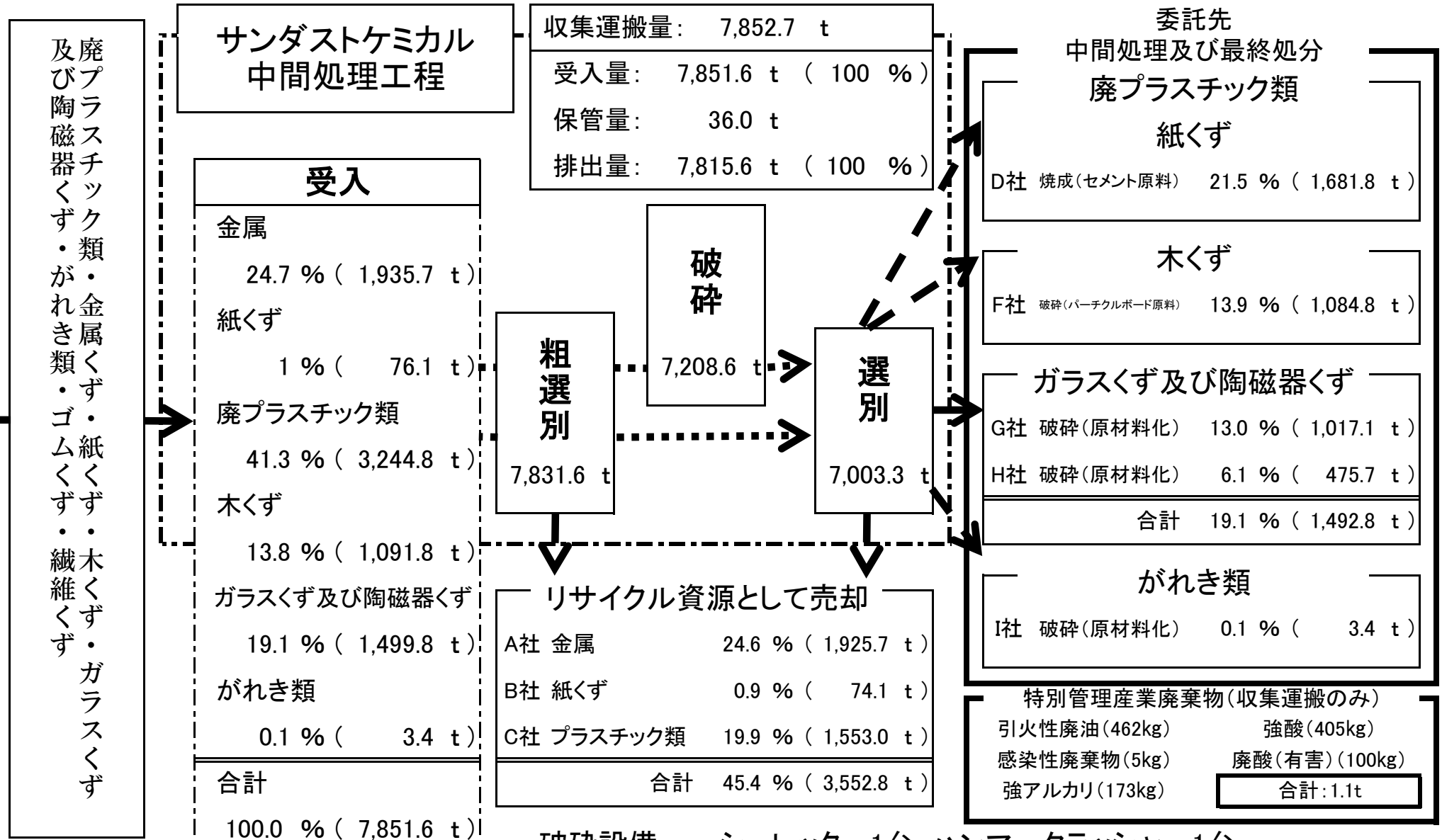
2. 認証・登録の対象組織・活動 ※許可の内容

(1)対象活動 (全組織・全活動)	産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業、 特別管理産業廃棄物収集運搬業、フロン類回収業、 家電リサイクル取扱業 《許認可》 優良産廃処理業者認定九州・山口県(8県) 産業廃棄物処理業:福岡市 産業廃棄物収集運搬業:九州・山口県(8県) 特別産業廃棄物収集運搬業:福岡県 フロン類回収業(1種):福岡県 家電リサイクル券システム取扱
----------------------	--

産業廃棄物処理工程及び最終処分終了までの一連の処理工程図

2019年4月
～2020年3月

排出事業者・収集運搬業者

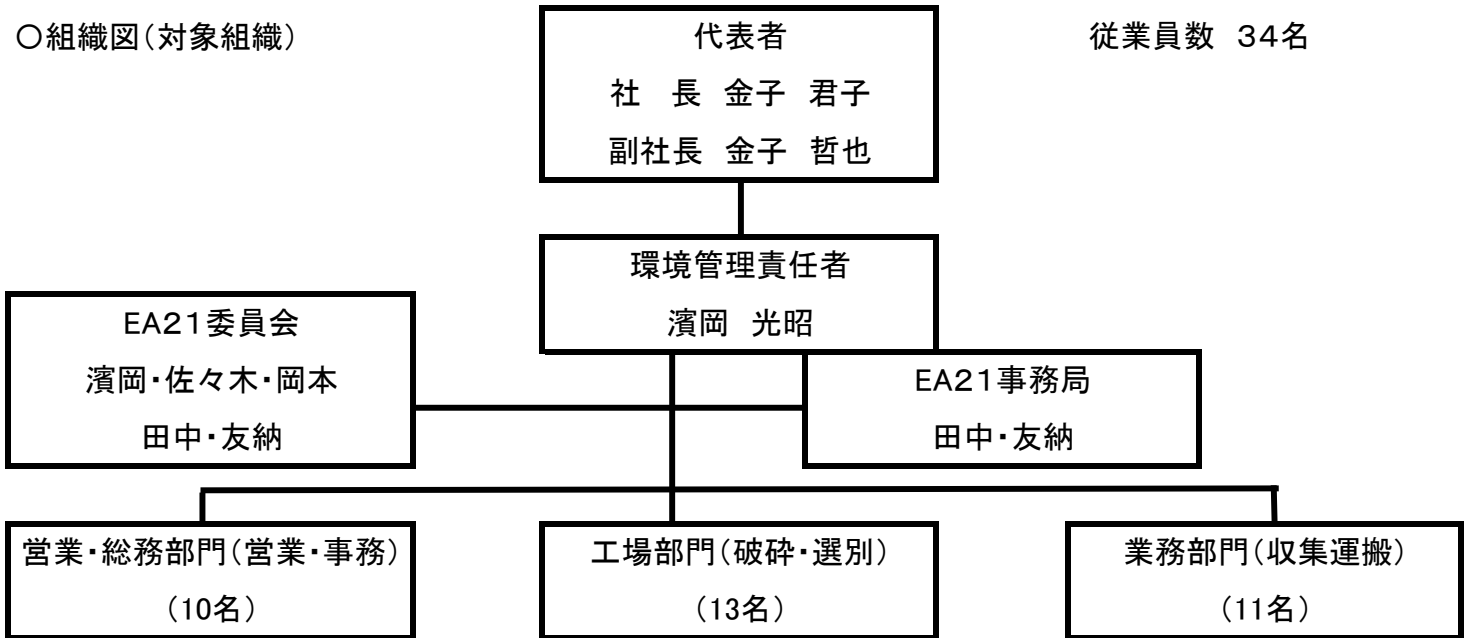


破碎設備 : シュレッター1台・ハンマークラッシャー1台
 選別施設 : 磁力選別機2台・トロンメル1台・浮上分離機1台
 工場内重機 : トラックスケール1基・バックホウ3台・フォークリフト2台

(2)

○組織図(対象組織)

従業員数 34名



所属	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・環境方針を作成・見直し、従業員に周知する ・環境管理責任者、EA21事務局員を任命する ・環境への取組を実施するための資源(人・もの・金)を準備する ・EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる。 ・環境目標、環境活動計画を作成する。 ・3ヶ月に1回、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を確認する。 ・上記の結果を代表者に報告する。
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヵ月ごとに開催し環境目標の達成状況及び活動計画の実行情況を審議する
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う ・社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する ・環境目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する ・自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する ・自部門に関連する法規制等を順守する ・自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する ・自部門の教育・訓練を実施する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

(3) 許可証一覧

番号	産業廃棄物処分量			許可品目																	
	県・政令市	許可番号	許可年月日及び有効期限	廃プラ	金属くず	ガラ陶	紙くず	木くず	廃油	廃酸	廃アルカリ	動植物性残さ	がれき類	燃え殻	汚泥	ゴムくず	繊維くず	鉱さい	ダスト	ばいじん	
1	福岡市	07720028516	許可年月日及	平成30年12月27日	○	○	○	○	○												
			有効期限	平成35年12月26日																	
産業廃棄物収集運搬業				許可品目																	
2	福岡市	07710028516	許可年月日及	平成30年12月27日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			有効期限	平成35年12月26日																	
3	福岡県	04000028516	許可年月日及	令和元年5月29日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			有効期限	令和6年5月28日																	
4	長崎県	04200028516	許可年月日及	平成29年3月16日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			有効期限	平成36年3月15日																	
5	大分県	04408028516	許可年月日及	平成28年7月24日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			有効期限	平成35年7月23日																	
6	佐賀県	04101028516	許可年月日及	平成31年3月31日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			有効期限	令和6年3月30日																	
7	宮崎県	04509028516	許可年月日及	平成28年8月3日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			有効期限	平成35年8月2日																	
8	熊本県	04305028516	許可年月日及	平成29年4月11日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			有効期限	平成36年4月10日																	
9	鹿児島県	04603028516	許可年月日及	平成28年5月9日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			有効期限	平成35年5月8日																	
10	山口県	03500028516	許可年月日及	平成28年4月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			有効期限	平成35年4月17日																	
番号	県・政令市	許可番号	許可年月日及び有効期限		廃油	廃酸	廃アルカリ	燃え殻	汚泥	廃石綿等											
3	福岡県	04000028516	許可年月日及	令和元年7月30日	○	○	○	○	○												
			有効期限	令和6年7月29日																	

優良産廃処理業者認定地区一覧

[産業廃棄物収集運搬業]

長崎県 有効期限 平成36年3月15日

大分県 有効期限 平成35年7月23日

宮崎県 有効期限 平成35年8月2日

熊本県 有効期限 平成36年4月10日

鹿児島県 有効期限 平成35年5月8日

山口県 有効期限 平成35年4月17日

[産業廃棄物中間処理業]

福岡市 有効期限 平成35年12月26日

(4) 第1種フロン類回収業者登録

県名	有効期限	許可番号
福岡県	令和4年4月3日	第40-1-1185号

(5) 施設の状況

設置場所 : 福岡県福岡市東区松島4丁目4番10号

設置年月日 : 平成18年12月27日

施設の種類 : 破碎施設(中間処理)

品目 : 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・及び陶磁器くず、木くず、紙くず

処理能力 : 17.4t/日

稼働時間 : 8h/日(8時~17時まで※昼休み1時間を除く)

処理方式 : 破碎・選別

〈構造・設備の概要〉

敷地面積 : 2,360m²

廃棄物保管能力 : 1,130m³

○保有車両数

ダンプ車 3台、キャブオーバー 8台、バン(パワーゲート付) 2台、
脱着装置付コンテナ専用車 10台

○積替保管施設

積替保管施設 : 福岡市中央区平和3丁目20番10号

面積 : 4.3m²

保管上限 : 3.6m³

保管品目 : ガレキ類

3. 環境目標とその実績

環境目標			実績値			
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	
騒音・ふんじん発生の抑制	目標	%	100	100	100	
	実績		100	100	100	
二酸化炭素排出量の削減	目標	kg-CO2	309,085以下	309,085以下	309,085以下	
	実績		268,531	298,415	320,373	
受託した産業廃棄物の再資源化率向上	目標	%	95以上	95以上	95以上	
	実績		99	100	100	
事業所からの事業系一般廃棄物の削減	目標	t	1.62	1.62	1.62	
	実績		0.78	0.88	0.83	
総排水量の削減	目標	m ³	388以下	388以下	388以下	
	実績		337	369	362	
グリーン購入の推進	目標	% (購入額)	60%	60%	60%	
	実績		63	60	61	
事業活動に伴う目標	地域貢献	目標	1回以上	1回以上	1回以上	
		実績	1回	1回	1回	
	3R推進提案 件数10件	目標	10件	10件	10件	
		実績	12件	12件	13件	
	分別解体の徹底	目標	最終処分量	—	—	—
		実績	10%以内 未把握	—	—	—
	燃費管理	目標	6.0km/L以上	6.0km/L以上	6.0km/L以上	
		実績	5.6km/L	5.5km/L	5.5km/L	
	フロンガスの適正処理	目標	—	—	—	
		実績	適正な処理を実施した	適正な処理を実施した	適正な処理を実施した	
	電子マニフェスト普及活動	目標	2件/年間	2件/年間	2件/年間	
		実績	3件(150%)	3件(150%)	5件(250%)	

実績数値の下の()数値は、環境目標に対する削減率を示す。

削減率は、((目標) - (実績値)) / (目標値) + 1) に100を掛けて算出した。

※二酸化炭素排出量削減において、購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力実排出係数を使用(0.613kg-CO2/kWh)

○取り組み評価

(1) 騒音・ふんじん発生の抑制

防音シートの効果により、工場外への影響を抑える事ができた。
粉塵については、受入量の減少により粉塵量が減った。

(2) 二酸化炭素排出量の削減

前年に比べ受注増で遠方への収集運搬のご依頼が増えた事もあり、軽油使用量が増えた事も影響し二酸化炭素排出量が増えている。新型車両導入の影響で前年よりも燃費が僅かながら改善されているがエコドライブ・アイドリングストップの意識を向上させて、軽油使用量と燃費改善したい。

(3) 産業廃棄物の再資源化率の向上

安定型埋立処分場の減少により、ガラスくずやがれき類の処理代金が高くなった為、処分量が減り、リサイクル率が上昇した。

(4) 事業系一般廃棄物の削減

目標値は達成しているものの、可燃、不燃ごみの排出量が前年に比べて増えている。
全社員の意識向上で次年度は改善したい。

(5) 総排水量の削減

散水に雨水利用が少ない時期があった事や収集運搬車両をこまめに洗車すること等、節水の意識は向上している。継続して全社員の更なる節水の意識付けをしていく。

(6) グリーン購入の推進

事務用品については、カタログのグリーンマーク商品を優先して購入している。事務用品購入担当者の意識付け出来たことが結果となっている。継続・向上を目指していく。

(7) 環境保全活動

地域清掃活動は年間目標1回としているが、今後他の地域活動にも協力していきたい。

(8) 電子マニフェストの普及啓蒙活動

排出者様に電子化のメリットを継続的に推進し、紙の削減と業務の効率化を図って行きたい。

4. 主な環境活動計画及びその取組結果と評価並びに次年度の取組内容

(1) 騒音・ふんじん発生の抑制

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価(今後の取組方向も含む)
騒音の発生抑制	○	・早朝・夜のダンプ、破砕作業は極力押さえ騒音を出さない。	○	概ね所定時間内で荷降ろしが出来た
	○	・荷下しはゆっくりと降ろす	○	ダンプでの荷降ろし、什器の破砕時に騒音発生が少なかった
	○	・苦情や要望を受け付ける	○	外部からの苦情はなかった
ふんじんの発生抑制	○	・乾燥時には散水を行う。 ・場内では、ふんじんをおこさないように取り組む。 ・苦情や要望を受け付ける	○	廃棄物減少でふんじんは少なかった。効果的な散水を意識して取り組んだが、雨水利用が少ない時期があった事を改善していく

(2) 二酸化炭素排出量の削減

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価(今後の取組方向も含む)
電気使用量の削減(3%)	○	・エアコンの設定温度 ・蛍光灯の間引きと不必要な箇所の昼休みのスイッチOFF ・退社時の電源OFF	○	エアコン温度設定、昼間の消灯の習慣がついてきた
ガソリン使用量の削減	○	・エコドライブの推進 ・省低燃費車の利用 ・効率的なコース設定	—	新型車両を導入実施 アイドリングストップ・エコ運転推進
軽油使用量の削減(3%)	△	・エコドライブの推進 ・効率的なコース設定 ・収集・運搬取扱量の平準化	○	旧型車両の燃費悪化により新型車両を導入実施 アイドリングストップ・エコ運転推進

(3) 受託した産業廃棄物の再資源化率の向上

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価(今後の取組方向も含む)
受託した産業廃棄物の再資源化率の向上目標(94%)	○	・工場内での仕分け作業の徹底 ・顧客への分別廃棄の啓蒙活動 ・委託先に対して廃棄物の物性情報を提供する。 ・リサイクル出来る業者に積極的に依頼する	○	顧客への分別廃棄啓蒙活動の成果もあり、工場内での仕分け作業が向上された 安定型埋立処分場の減少により、処分費用は高くなったが、リサイクル率は上昇した

(4) 廃棄物排出量(一般廃棄物)の削減

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価(今後の取組方向も含む)
可燃ごみ、不燃ごみ、紙の排出量の把握	△	一般廃棄物の削減 コピーの無駄をなくす ビン、缶の飲み物を極力持ち込まない	○	閲覧板を利用し、無駄なコピーを少なくする ファックスのオンライン化により パソコンで確認し、必要な物だけをコピーする 工場事務所に飲み物ポットを設置し、個人購入のビン、缶も飲み物を少なくする

(5) 水使用量の削減

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価(今後の取組方向も含む)
事務所の水使用量の3%削減	○	・節水活動の推進 節水活動の推進 ・雨水の利用拡大	○	雨水のタンクを大きくし散水利用 洗濯機のまとめ洗い(手袋等) 自家用車の洗車はやめる

(6) グリーン購入の推進

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価(今後の取組方向も含む)
再生資源の調達率の向上	△	・コピー用紙はリース会社支給品を使う ・エコマーク、グリーンマーク品を優先的に購入 ・フレコンバックの再利用を拡大する	○	コピー用紙代の削減が出来た フレコンバック再利用は継続案件として取り組む

(7) 事業活動に伴う目標

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価(今後の取組方向も含む)
地域貢献	○	・会社周辺の清掃活動	△	更に活動回数を増やしていきたい
3R推進提案	○	・分別が実践されていない状況を発見次第、コスト削減等になる事を提案する	○	分別廃棄のお願い進めていく
燃費管理	○	・社内全車両の燃費管理を実施する	△	アイドリングストップ・エコドライブを周知徹底する

(8) その他取り組むもの

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価(今後の取組方向も含む)
電子マニフェストへの取組み	○	・顧客に対する電子マニフェストの啓蒙活動	○	今後積極的に電子化に取組み事務効率と顧客との信頼感を更に深める。
フロンガスの適正処理	○	・特定フロンの回収・適正処理に取り組む	○	少ない人員の中、迅速で適正な回収処理をする
排水の適正管理	○	・周辺側溝、配水管へ有害物質や、汚濁物質を流さない	○	今後も環境に気配りをして続けていく
環境関連法規の遵守	○	・法改正等の情報を積極的に入手する	△	講習会等に参加し早く情報を入手し適正な業務をする。
				今後社内で法令関連の責任者を設け、全部門への周知徹底を図る
化学物質の不使用	○	・場内・駐車場の除草には、除草剤を使わない	○	今後も環境に配慮した取り組みをする

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりである。

適用される法規制等	適用される事項(施設・物質・活動等)
廃棄物処理法	産業廃棄物の運搬又は処分を行う場合は「産業廃棄物処理基準」に従わなければならない。
オフロード法	平成18年10月以降に製作されている建設機械等については基準適合したものを使用。指針に定める適切な燃料の使用、適切な点検整備等の実施。排出ガス対策建設機械あるいは排出ガス
自動車リサイクル法	自動車の長期使用、再資源化、引取り業者への引渡、リサイクル料金の支払
水質汚濁防止法	排水口において排水基準に適合しない排水を排出してはならない
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	<p>業務用エアコン(圧縮機電動機定格出力7.5KW未満)</p> <p>フロン類の漏えいを発見した場合、漏えい箇所の特定制及び修理をしなければならない。</p> <p>点検・修理やフロン類の充填・回収等に関して履歴を記録して保存しなければならない。</p> <p>1年間にフロン類をCO2換算値で1000CO2-ton以上漏えいした事業者は国に報告しなければならない。</p>
家電リサイクル法	再商品化等の確実実施。
小型家電リサイクル法	排出事業者に対し、周知を図り適正な処理を進めていく

期間中、上記の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。

また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

6. 代表者による全体評価と見直しの結果

数値目標において一定の成果を出している事は評価したいが、二酸化炭素排出量が前年に比べて増えている事は大きな反省材料である。主な要因としては、前年に比べ受注が増えているが、遠方への収集運搬のご依頼を頂いた影響もあり軽油の消費量が大幅に上がっている。売上が前期に比べ伸びた事は喜ばしい結果ではあったが、環境経営目標も同時に達成する事を常に目指していきたい。その為にも、エコドライブ・アイドリングストップの更なる改善の意識を関係部署に求めていきたい。

地域清掃活動

